

# 議 会 だ よ り

まるもり

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第 258 号



2022. FEB  
令和 4 年 2 月 1 日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会



新しい年に願いを込めて（駒場瀧不動尊愛敬院）（表紙のことは…… 20ページ）

## 12月議会

- 生活基盤の整備を全力で…………… 2ページ
- 議会の要望に町長が回答しました…………… 6ページ
- 一般質問 9名の議員が町政を問う…………… 8ページ
- 人口減少社会のまちづくり 過疎計画を承認…………… 18ページ



まあるい森の里からごんにちわ

# 生活基盤の整備を全力で

## 12月議会のあらまし

### 主な議決内容

- ◆承認  
専決処分した事件の承認（一般会計補正予算）
- ◆条例制定  
再生可能エネルギー発電設備の設置の規制に関する条例 ほか5件
- ◆計画策定  
過疎地域持続的発展計画
- ◆指定管理者の指定  
丸森まちづくりセンター ほか13件
- ◆町道の認定  
直洲3号線
- ◆補正予算  
一般会計補正予算（第9号） ほか2件

12月議会定例会は、12月15日から17日まで3日間の日程で開催しました。審議の結果、町長提案の議案等を、すべて原案どおり可決しました。一般質問には9人の議員が登壇し、自らの考えを交え町長の考えをたずねなど、活発な議論が行われました。また、災害公営住宅及び町営住宅建設事業の進捗については、引き続き災害対策調査特別委員会において内容を調査し、早期の完成に向け取り組みこととしました。

### 主な補正予算

住宅取得費に  
23億590万円

資材価格の上昇や、予想を超える軟弱地盤に対応するため、町営住宅取得費に22億1810万円、災害公営住宅取得費に8780万円の増額を承認しました。令和2年度から令和5年度（完成）までの住宅建設費は合計で62億6470万円となりました。

臨時特別給付金に  
3億1840万円

住民税非課税世帯への給付金（一世帯10万円）として1億8000万円、子育て世帯への給付金（子ども一人あたり10万円）として1億3840万円の予算を承認しました。

水稲次期作付継続支援事業補助金に  
2775万円

令和3年産米の概算金大幅下落を受け、水稲生産農家の経営に大きな影響が出ていることから、次期作付継続を支援するための補助金2775万円を承認しました。10aあたり4000円で、対象者は877名を見込んでいます。

燃料購入費助成金に  
900万円

原油価格の高騰を受け、灯油等の価格も上昇していることから、低所得世帯の負担軽減のため、灯油等購入に対する助成金として、900万円を承認しました。一世帯あたり5000円で、1800世帯を見込んでいます。



地盤強化で安心な住宅完成を  
(町営神明・災害公営住宅建設現場)

### 条例改正

●再生可能エネルギー発電設備の設置の規制に関する条例  
施行：令和4年4月1日

※再生可能エネルギー  
太陽光、風力、水力、バイオマスといった二酸化炭素を排出しないエネルギーを指します。温暖化対策の一つとして導入が進められていますが、森林を伐採して事業区域を確保しようとするケースも増えており、地域の環境に応じたルール整備が求められています。

再生可能エネルギー発電設備の設置が防災並びに自然環境、生活環境及び景観に及ぼす影響を考慮し、現行条例を全部改正して、再生可能エネルギー発電設備の設置について一定の規制を定めるものです。

### 概要

◇事業区域に含めてはならない「禁止区域」と、含めないよう努める「抑制区域」を規定しました。

#### 禁止区域

- 急傾斜地崩壊危険区域
- 地すべり防止区域
- 砂防指定地
- 土砂災害警戒区域
- 保安林 等

#### 抑制区域

- 農業振興地域内の農用地
- 地域森林計画の区域
- 鳥獣保護区
- 埋蔵文化財所在区域 等

◇地域の住民は、事業者に対し、協議を行うことや協定の締結を求めることができます。事業者は、その求めに応じて協定を締結することが必要になります。

### 児童館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

●児童館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例  
施設：大張児童館  
施行：令和4年4月1日

### 過疎計画

令和3年度から令和7年度までの5年間に計画期間とする新しい過疎計画（丸森町過疎地域持続的発展計画）が策定されました。関連記事18ページ

### 遊園施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

●遊園施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例  
施設：大張児童遊園  
施行：令和4年4月1日



山肌に設置されたメガソーラー（筆甫地区）



耕作放棄地を活用した太陽光発電（筆甫地区）

# 委員会の構成メンバー変わりました

議会運営委員会（議会の円滑な運営を行うために常時置かれている委員会）と常任委員会（町の事務を専門的に調査するため常時置かれている委員会）のメンバーを改選しました。

●任期：令和3年12月15日～令和5年11月30日



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
目黒越雄	海川正則	大槻正儀	船山俊一	宮本昭雄	佐藤吉市



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
船山俊一	大槻正儀	鈴木美智子	一黒越雄	目黒越雄	石井央



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
宮本昭雄	金森裕之	山本明徳	一黒越雄	佐藤吉市	板橋勇



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
大槻正儀	鈴木美智子	金森裕之	山本明徳	船山俊一	一黒越雄

## 指定管理

### 全施設の指定管理者を継続

※指定管理者制度  
施設の管理運営を民間事業者等に包括的に委任する制度です。業務委託とは異なり、指定を受けた管理者は協定等の範囲内で独自の工夫をして管理運営を行うことができます。

## 指定期間3年間の施設

（令和4年4月1日から令和7年3月31日まで）

●まちづくりセンター（8地区）  
各地区自治組織

●丸森町立金山図書館  
金山自治会

●丸森町高齢者生産活動センター  
公益社団法人丸森町シルバー人材センター



高齢者の活動の場 手しごと館

## 丸森町観光交流センター

一般財団法人丸森町観光物産振興公社

## 指定期間5年間の施設

（令和4年4月1日から令和9年3月31日まで）

●青葉旗巻古戦場公園  
青葉旗巻古戦場公園保勝会

●館矢間第一堆肥センター  
館矢間地区第一有機利用組合

●館矢間第二堆肥センター  
館矢間地区第一有機利用組合

## 町道の認定

直洲3号線  
起点：館矢間館山字直洲219番14地先  
終点：館矢間館山字直洲212番13地先  
総延長：83メートル

## 発議

●常任委員会の閉会中の調査について

●議会運営委員会の閉会中の調査について

三つの常任委員会（総務・民生・産建教育・議会広報）及び議会運営委員会の閉会中の調査について決定しました。

## ※常任委員会

議案等を詳しく調査するため設置されます。議員は必ず一つ以上の委員会に所属します。

## ※議会運営委員会

議会をスムーズに運営するために、議会に関するルールなどを話し合います。



宅地造成進む一町道認定（館矢間直洲3号線）

# 議会の要望に町長が回答しました

## 令和2年度決算審査での 議会要望への回答



斎理屋敷店蔵は展示コーナーに模様替え



サロン活動（寺内仮設団地）

**要望** 税や使用料の納付手段を拡大しつつ、町民理解を高める啓発に努め、確実な徴収が図られるよう、全庁一体で取り組むこと。  
**回答** スマートフォンアプリによる納税と口座振替の利用を推進する。  
未納対策は、収納特別対策本部を設置し、職員一丸で収納率向上に努める。

**観光再生と経済活性化**  
**要望** 観光交流施設は、特色ある事業展開と連携強化により、観光再生と経済活性化を推進すること。  
**回答** 民間の指定管理者自らが、施設のリノベーションや新たなイベントの実施に取り組んでいる。指定管理者をはじめ、関係事業者と町が一体となって観光振興策を推進していく。

**病院経営の安定化**  
**要望** 病院経営安定と町民の命を守るため、病床の有効活用と医師や看護師の安定確保に努めること。  
**回答** 令和2年4月に導入した地域包括ケア病床の有効活用を徹底していく。また、医師は大学の協力を得て確保に努める。看護師は、職場環境の改善を図りながら人員の安定確保に努める。

**被災者の生活再建**  
**要望** 生活再建の要は住環境の整備にある。公営住宅の期日内完成と、被災者に寄り添った再建支援に努めること。  
**回答** 入居者が安心して暮らせる住宅の早期完成に努めると共に、訪問・電話・対面での現状把握を行い、被災者の状況に応じた生活再建を支援する。

**再編後の児童生徒の育成**  
**要望** 小学校再編を機に幼小中の連携強化で、確かな学力形成と自立する力の育成に努めること。  
**回答** 家庭・こども園・小中学校の連携をさらに進め、年代に応じた学力の定着と向上を図りながら、将来の町を担う人材の育成を図る。



適正に管理され日が差し込む山林（大内地区）

**地域交通システム構築**  
**要望** 高齢化進行を見据え、デマンドタクシーや町民バス等のあり方を再検討するとともに、地域交通確保のためのシステム構築に努めること。  
**回答** 利用者の立場で利便性の向上を図り、既存の交通体系で対応が難しい事案に対応できるように、交通対策を引き続き検討する。

**感染拡大防止に万全**  
**要望** コロナ感染症の予防・拡大防止に万全を期し、一日も早い通常の生活確保が図られるよう全力で取り組むこと。  
**回答** 国の基本的対処方針や県の要請内容に沿って着実に対策を進め、安心して暮らせる日常生活を早期に取り戻せるよう拡大防止に取り組む。

**山林の適切な管理**  
**要望** 東日本台風風の被害は、放置山林からの土砂崩れによるものが多いと推測される。山林の適切な管理と山林経営が基幹産業になるよう取り組むこと。  
**回答** 森林整備のあり方や、林業振興策をまとめた丸森町林業振興ビジョンを令和4年度に策定し、山林の適切な管理や、山林経営が基幹産業になるよう取り組む。

**新防災マップ早期配付**  
**要望** 新防災マップへの期待が大きい。わかりやすい内容にするとともに、早期配付に努め、町民の暮らしの安全につなげること。  
**回答** 阿武隈川支流浸水想定区域と土砂災害箇所なども取り込み作成して、令和3年度中の全戸配付を目指す。行政区ごとの地区防災マップ作成も推進する。



町民バス阿武急丸森駅前を出発します

# 町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えをたずねるものです。  
今回は9人の議員が質問しました。

ページ	議員	質問事項
9	鈴木美智子 議員	●道路整備でまちづくりを
10	山本明德 議員	●福祉灯油の助成を
11	宮本昭雄 議員	●人口減の抜本対策を
12	一條己 議員	●高齢者の交通手段は
13	一條功 議員	●児童生徒問題行動は
14	船山俊一 議員	●移住促進への取組みは
15	金森裕之 議員	●災害に強い農業を
16	板橋勇 議員	●金山城址の公園指定を
17	大槻正儀 議員	●過疎対策今後の取組みは



## 道路整備でまちづくりを

### 町長 町活性化に努力する



鈴木美智子 議員



QRコード  
一般質問動画

まちづくりの重要な取り組みのひとつである、道路整備について町長に問う。

**問①**常磐自動車道山元南インターから町中心部まで車で県道角田大内線経由で17分、県道角田山元線から町道清水沢線経由で約14分の短時間の距離である。

町道清水沢線と県道角田大内線の一部に、すれ違い困難な箇所やカーブがある。高速道路へのアクセス向上に現道拡幅改良が必要と考えるがどうか。

**答①**清水沢線は昭和50年代から平成20年度までの事業で、全幅7m二車線区間と

全幅5m区間で改良を終えているが、利用形態や交通量を見極め、今後も整備が必要か検討する。

**問②**平成27年度に策定した町道路整備計画は、令和2年度からの後期計画を見直したか。

令和元年東日本台風から2年が経ち、計画の見直しを進めるべきではないか。

**答②**令和2年度から令和6年度までの後期計画移行時に見直しを考えていたが、台風被害の復旧復興を優先し、計画見直しを延期した。当面は現行計画を継続し令和7年度からの次期計画策定の準備を進める。

**問③**国道349号山側ルート完成後は、円滑な物流が可能となり人流も増加すると予想される。その流れを町内に呼び込み観光振興や工場誘致などにつながるよ

う官民一体となり今から取り組んでどうか。

**答③**町観光施設の指定管理者や民間の観光事業者と連携して経済活性化を図る。関東方面へのアクセス向

上を各企業に積極的にPRし新工場団地への企業誘致に取り組む。

悲願だった道路整備が、様々な分野で町活性化につながるよう、更に努力する。



国道349号山側ルート早期完成で町活性化を



みやもと しょうお 議員  
**宮本 昭雄**



QRコード  
一般質問動画

## 人口減の抜本対策を

### 町長 女性活躍の場を創出

11月末に、昨年実施の国勢調査確定値が公表された。5年前と比べた減少率は12%と県内ワースト2位という数値である。産み育てられる世代の定住が重要だが、どう進める考えか。

**問①**町の人口構成を見ると、20から39歳までの女性は、男性に比べ4ポイントも少ない。女性は高校や大学卒業後、町外に出てしまう傾向が強いことを示している。かつては電子部品や縫製など、女子型企業が多く、女性が活躍できる環境があったが今は少ないと思う。このことも念頭に置いて

**答②**これまで、子ども医療費や第2子以降保育料の無料化など、子育て環境の整備に努めてきた。



子育て家庭の支援充実を（ロータリークリスマス家族会の一場面）

## 福祉灯油の助成を

### 町長 非課税世帯へ支援する

原油価格高騰により、ガソリン、灯油等燃料が値上がりしている中、町民の生活や中小事業者の生業に深刻な影響を与えている。働く人の賃金が上がらない中、町民への燃料費助成について問う。

**問②**燃料を大量に使用する中小事業者、農家等への燃料費助成をしてはどうか。  
**答②**コロナ対策として経営に影響を受けた事業者に支



冬場の暖房は住民のいのちを守る

**問③**学校やこども園、民間の介護保険施設や障がい者支援施設への暖房費等の助成をしてはどうか。  
**答③**学校施設等の燃料費不足に対しては補正予算で対応する。また、福祉施設等への助成は宮城県が直接助成をする予定である。  
**問④**県内の児童施設で刃物を持った男による侵入事件が起きた。こども園及び学校における不審者対策について町長・教育長に問う。  
**答④**町長 保育施設には防犯カメラや防犯ブザー、インターホンを設置し、防犯対策を取っている。また、危機管理マニュアルを整備するとともに、警察署の指導の下、不審者侵入防犯訓練を実施し児童の安全に万全を期している。  
**教育長**危機管理マニュアルに基づき、きめ細かな計画を定め訓練を重ねている。施設や校舎内外の巡視により警備を強化し、警察や防犯協会、交通指導隊との連携を図り、児童生徒の安全を守っている。



やまもと あきのり 議員  
**山本 明德**



QRコード  
一般質問動画

円を助成する。  
**問②**燃料を大量に使用する中小事業者、農家等への燃料費助成をしてはどうか。  
**答②**コロナ対策として経営に影響を受けた事業者に支

援金等の交付を複数回行っている中で、燃料費支援は考えていない。  
**問③**学校やこども園、民間の介護保険施設や障がい者支援施設への暖房費等の助

成をしてはどうか。  
**答③**学校施設等の燃料費不足に対しては補正予算で対応する。また、福祉施設等への助成は宮城県が直接助成をする予定である。



いちじょう 功 議員  
一條 功 議員



QRコード  
一般質問動画

## 児童生徒問題行動は

### 教育長 見守り指導している

令和2年度文部科学省によるいじめ、不登校、暴力行為調査結果が発表された。  
**問①**前年度との発生件数の比較、又は、認知した件数を具体的に問う。  
**答①**不登校は小学校3名、中学校14名で前年度と同数である。いじめは、小学校は4件で3件減少、中学校は5件で2件増加した。いじめの内容は、からかいや言葉による嫌がらせが多く、認知した際はすぐに児童生徒を指導し、速やかな解決を図っている。解決しても、3か月間を指導期間として見守り指導

をしている。  
**問②**コロナ以前の日常を回復する動きが本格化して、反動で令和3年度が最も危険だと指摘されているが、どのように考え、対策しようとしているのか。  
**答②**新しい生活様式を実践しているが、子どもたちのストレスはかなり大きい。具体的には、給食の黙食、調理実習のない家庭科、合唱や体育での接近しない活動、友人関係を深めるコミュニケーションは、顔の表情が見えず声も聞き取りにくいマスクの着用が日常化しており、疲弊した心のケアに様々な工夫をしている。一例として、子どもたちの不安や悩みを受け止め、一人ひとりに寄り添うことができるよう、担任がゆとりをもって指導したり、教員補助者を配置して複数の目で観察している。また、生徒指導上の課題を教師が抱え込まず全体で解決するようしている。



新たな学校でも仲良く学んでほしい（館矢間小学校）

## 高齢者の交通手段は

### 町長 新たな交通対策を検討

本町は、少子高齢化の町だが、あったかな学校と病院がある。少ない子どもを大切に、福祉施設もあり、あったかな交通手段と食事の提供など、新しい地域づくりが始まっている。町の老舗のタクシース会社は廃業した。地域内や町外への通院や買い物にはタクシーを利用してきたので不安になる。町のあったかな交通手段について問う。  
**問①**高齢者の交流の場やスポーツへの参加の移動は家族や友人が送迎することが多い。福祉施設の送迎車の



いちじょう 己 議員  
一條 己 議員



QRコード  
一般質問動画

空車時間を利用し、移動手段として活用出来ないか問う。  
**答①**現在、地域主体による移動交通の実証実験を予定している。その結果も踏ま

え実現可能な手段を模索していく。  
**問②**町外の病院や商業施設による送迎を把握しているか。



福祉施設の車両による病院への送迎

**答②**仙南にはないが、MRI撮影を委託している新地町内の病院が送迎サービスをしている。  
**問③**事例として高知県大豊町がデマンドタクシースの町外延伸をしている。また、市町村有償運送で、交通空白地輸送を実施している町もあるので、これらを参考にしているか。

**答③**町としてデマンドタクシース路線を町外に延伸することは、経費の増加が伴うため、一定以上のニーズが無い現状において想定していない。  
**問④**仙南地域では、県南中核病院が医療機関の中心を担っている。各市町が協力して交通弱者問題を解決する施策を提案する役割を町長が担ってはどうか。  
**答④**市町により条件は様々であり、限られた財源の中、それぞれが対応せざるを得ない。町としても新たな交通対策を見出ししていく。



かなもり ひろゆき 議員  
**金森 裕之**



QRコード  
一般質問動画

## 災害に強い農業を

### 町長 農地の保全を図る

近年、日本各地で地震や異常気象に伴う集中豪雨や台風等の自然災害が頻発し、本町も東日本台風で農地、農業施設等が甚大な被害を受けた。

また、鳥獣被害や凍霜被害、コロナの影響による米価下落も災害といえる。農業環境は、厳しさが増すばかりで深刻な状況だが、今後の課題や対策について町長に問う。

**問①**農地復旧後、継続的な作付けや維持、管理または転作など、今後の支援と協力体制はどう進めるのか。

**答①**災害復旧後の農地については、地区住民と共に対応策を協議し、農業委員会などの関係者が参加する話し合いの場を設定し、適正管理されるよう取り組む。

**問②**気候変動により今後予想される災害に備え、農業、農村の多面的機能を活かした防災減災が課題と考える。町の対策はあるのか。

**答②**農地はダム役割を果たし洪水リスクを低減させる効果があるので、多面的機能、中山間地域等の支払い制度を積極的に推進し農地の保全を図る。

**問③**農業者自身が取り組む備えとして、ハウスの保守管理、保険等の加入も重要である。町として園芸施設の強化、収入保険加入促進をセットで進める必要があると思うがどうか。

**答③**災害に強い強靱な施設整備への誘導や、青色申告の研修会の開催により共済や収入保険加入を推進していく。



強固なビニールハウスでの活力ある営農

## 移住促進への取組みは

### 町長 移住者目線で進める

将来の活力ある地域づくりを目指し、若年層や子育て世帯の移住促進を図ることとは、本町の喫緊の課題である。

今後は、コロナ禍で変化した社会的ニーズを的確に読み取り、効果的かつ独自性のある、新たな事業を展開し、丸森への移住を実現することが重要である。

この観点から町長に問う。

**問①**移住を検討する方々に、本町を知ってもらい、関心を高めてもらうための、シタイプロモーション事業の今後の取り組みは。

**答①**移住に向けた情報発信は、移住希望者のニーズを把握し、移住への希望を叶えるために重要である。今後は、移住者の意見を参考にするとともに、ウェブコンテンツ等を新たな情報発信ツールに加えながら、移住者目線での情報発信を進めていく。

**問②**住環境の整備と住宅に同居するための支援の充実には、移住先を決めるうえで大切な要素になる。

**答②**本町では、若者や子育て世帯が安心して住むことができるよう、しあわせ丸森暮らし応援事業補助金制度により、経済負担の軽減を図ることで、移住定住を推進している。

補助金の増額は、現在の制度と建築費用等を精査しながら検討を進めていく。

**問③**子どもたちの、安全・安心な遊び場や公園の整備、赤ちゃんの授乳やおむつ替え等のスペースの確保など、子育て世帯の移住環境整備への取り組みは。

**答③**子どもや親子が過ごす場所の整備について、居心地の良い空間になるよう、利用者の声を聴きながら、整備を検討するとともに、今後も子育てにやさしいまちづくりを推進していく。



ふなやま しゅんいち 議員  
**船山 俊一**



QRコード  
一般質問動画



丸森駅構内にある、まるもり移住・定住サポートセンター（じゅーびたつ）





おおつき まさよし  
**大槻 正儀** 議員



QRコード  
一般質問動画

## 過疎対策今後の取組みは

### 町長 持続可能な町をつくる

昭和45年に過疎地域に指定されて以来、対策を続けてきたが、50年が経過した今年10月末現在での出生数は26人と、現実には極めて厳しい局面にある。人口減少時代にあっても、理想とする釣鐘型の年齢構成の町を目指すべく質問する。

**問①** 町がこれまで力を注いだ過疎自立促進計画を昨年度終了したが、成果反省点など、どのような検証結果となったか。

**答①** 生活のための交通・道路整備、保育施設の新設や保育料・医療費の助成、若

者のための住宅提供・家賃補助など、若者の定住を全力で推進してきた。加速する人口減少に対し一定の効果があつたが、人口減少に伴う地域の活力低下や、高齢化が進んだことは残念に思う。

**問②** 今年度からの過疎対策計画には、あらたに具体的な取り組みとして移住策が計画されている。

**答②** 町が浄化槽の設置と管理を行う方式は、移住者の初期負担軽減のメリットはあるが、本町の浄化槽設置補助金制度は、県内でも高額な補助となっている。今後、より効果的な手法を調査研究するが、現時点では補助金制度を継続する。

**問③** 今年度からの丸森町過



元気に育て、子どもは町のたからもの（乳幼児健康診査）

疎地域持続的発展計画の策定と実践にあたっての町長の思いは。

寿命延伸などでの元気なまちづくり、地域資源を生かした儲ける農業、企業の誘致、住環境の整備を行い、移住定住をすすめる、人口減少の鈍化を図りたい。

## 金山城址の公園指定を

### 町長 指定は考えていない

金山地区は東日本台風により中心市街地を含め甚大な被害を受けた。金山地区復旧・復興の象徴として、城址の公園指定と維持管理等について問う。

**問①** 金山城址を公園指定すべきと考える。

公園には都市計画法に基づく都市公園と条例により設置可能な公園があり、金山城址はいずれの公園指定も受けていないが、公園指定の要件に合致するものと考えているかどうか。

**答①** 金山城址は、金山地区のランドマークであり、地区民の誇りとして長年にわ



いたばし いさむ  
**板橋 勇** 議員



QRコード  
一般質問動画

たり愛されている。公園指定については現在のところ考えていないが、町指定文化財として登録されている重要な歴史資源と認識しており、今後とも地区からの協力をいただきながら適切な維持管理に努める。

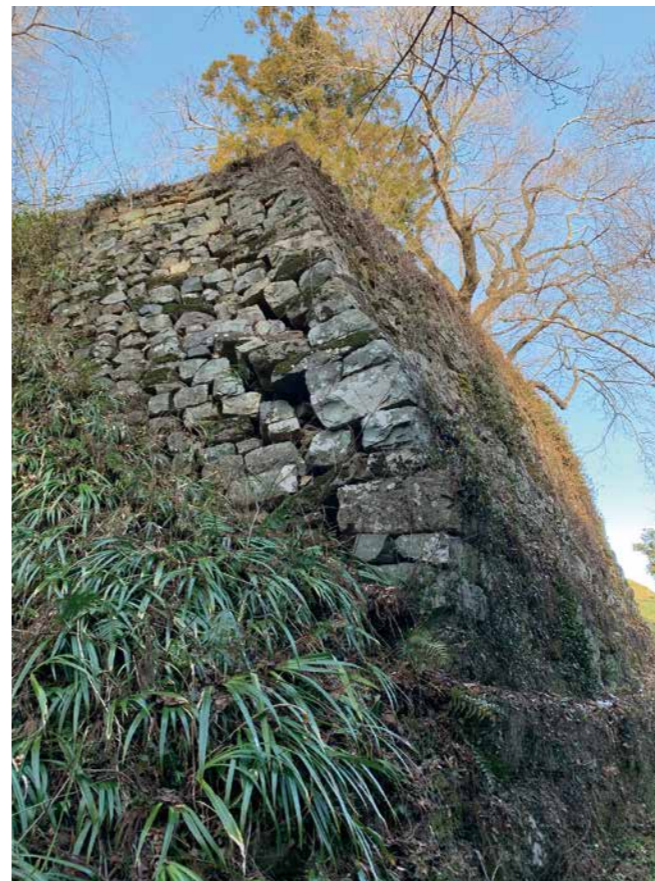
**問②** 城址への登り口が大きく崩落している。公共施設、道路、農地等の復旧が一段

落した時点で修復が必要と考えるかどうか。

ため、早い段階での対応が必要ではないか。

**答②** ボランティア団体による仮復旧作業で現在は本丸跡への通行が可能となっている。

**答③** 平成17年3月に原状回復したが、その後の地震や経年劣化等により膨らみや亀裂、隙間の発生を確認したので、現在は石垣付近を立入禁止としている。石垣修復経験のある事業者と修復方法を協議しているが、修復後の維持管理などの課題も多く、慎重に検討していく。



崩落が心配される石垣（金山城址）

# 人口減少社会の まちづくり

# 過疎計画を承認

## 過疎地域とは…

人口の著しい減少によって地域社会の活力が低下し、生活環境の整備等が他の地域と比較して低位にある地域。

## 過疎計画(過疎地域持続的発展計画)とは…

過疎地域から非過疎地域となることを目指し、地域活性化等を推進するために策定する計画。今回の計画期間は令和3年度から令和7年度の5年間)



カレーライス美味しいね (たんぼぼこども園0歳児11名)

**子育て支援・高齢者福祉**  
充実した教育・保育サービスの提供と、子どもの居場所や親同士がコミュニケーションを図る場所づくり等を進め、地域全体で子どもを育てる機会を醸成する。

**医療の確保**  
本町医療の中心施設である丸森病院は、医療機能の維持向上と医療人材の確保を図りながら、仙南地域の医療・介護施設との連携を強化し、地域医療体制の整備を推進する。



ICT教育の充実を (丸森中学校)

**教育の振興**  
一人一台タブレット環境を授業に有効活用して情報化社会に対応した教育の充実を図る。

**交通手段の確保**  
町民の自家用自動車以外の交通手段である町民バスのダイヤ見直し、デマンドタクシーあし丸くんの停車場の追加を検討して利便性を高める。



交流の場として期待されるゲストハウス (筆甫地区)

**産業振興**  
農林業は、水稲・畜産・園芸に加え6次産業化を推進し、儲ける農業を進める。商業は空き店舗活用と商業区域の振興、工業は工場団地造成を行い受け入れ態勢の整備を進める。

**生活環境の整備**  
高齢者や障がい者が安心して暮らせる町営住宅の提供を進める。また、丸森駅前の住環境の整備など、新たなまちづくりへの方策を検討する。



空き店舗活用で飲食店を始めました (丸森地区・まどい)

**移住・定住**  
毎年30人若者の定住対策をさらに推進するため、新築子育て世代への賃貸住宅の提供や住宅取得のための補助などの支援を行う。

**集落の整備**  
新たに集落支援員事業に取り組み、集落対策の推進に関してノウハウを有した人材を確保し、高齢者の見守り、身近な生活交通の維持、住民との協働による集落の維持・活性化対策を推進する。



## 林業振興と子育てに全力

丸森地区

おおはし ふみよし  
大橋 文美さん

若くして林業に従事する大橋文美さんに山の魅力や、今後の林業や町に対する意見を聞きました。

Q 林業を職業としたいと思ったきっかけを教えてください。

A 高校生から時間があれば仕事を手伝っていました。父と母の大変な仕事ぶりを見て自分が後を継ぎ、少しでも楽をさせてあげたいと思い林業の道を選びました。

Q 仕事の内容を詳しくお聞かせください。

A 木を伐採して玉切りし、丸太を山から重機で土場まで搬出した後、トラックで運送をしています。

切り出した木材は町内外の製材工場やチップ工場へ搬入します。ほとんどが重機での作業なのでやりがいのある仕事です。

Q 今後、仕事をしていく上での目標は何ですか。

A 高性能林業機械やドローンなどを活用し、短時間で効率の良い作業をしていきたいと思っています。

また、自然環境に目を向けた植林も考え、林業が若い人に浸透できるように頑張りたいと思っています。

Q 議会に対して、要望や意見はありますか。

A 幼い子どもが3人います。子育てしやすい町にしてほしいですね。子どもたちが伸び伸びと遊べる場が少ないので、公園などを増やしてほしいと考えています。

林業と子育てに対する熱い想いを持つ大変頼もしい若いお父さんでした。ご協力ありがとうございました。  
(金森裕之 委員)

### 次の議会は

## 3月2日(水) 午前10時

### 開会予定

- 日程が変更になる場合があります。後日、町議会ホームページで、改めてお知らせいたします。
- 新型コロナウイルス感染の状況により傍聴を制限する場合があります。



問い合わせ先 議会事務局 ☎0224-72-3038

### スマホで議会が見られます

## 本会議の映像をネットで ライブ中継しています

- 一般質問は過去の録画映像を常に視聴できます。ぜひ議会だよりと一緒にご覧ください。



丸森町議会中継

検索

### 表紙のこぼれ

駒場瀧不動尊愛敬院に来ていた親子連れ。  
とても寒い日でしたが、お母さんの休みも取れたので家族で初詣にきたとのこと。

父さんは町内の建設関係の会社に勤め、復旧復興の現場に携わっておられ、災害からの早期復旧とコロナの収束、家族の健康を祈念したそうです。

子どもさんの引いたおみくじは、なんと「大吉」でした。

今年一年、皆様にとって良い年でありますように。

(山本明徳 委員)

### 議会広報常任委員会

委員長	大槻 正儀
副委員長	鈴木美智子
委員	金森 裕之
	山本 明徳
	船山 俊一
	一條 己